スポーツニッポン

ネイキッドで秋をエンジョイ

ダイハツ

NAKED ターボ Gパッケージ（オプション装着車）

色とりどりの面白さ

バンパー外してカラーリング楽しもう!!

画期的な新車が出た。ダイハツ・ネイキッド。コンセプトは「自由自在にクリエイティブ・カー」近ごろ、街を走っていて、バンパーの色だけちょっと変わった、個性的な車が目立つようになった。簡単にマイ・バンパーをカラーリングして、色鮮やかな「ネイキッド」で、色鮮やかな紅葉を楽しみに、街から野や山を走り回ってみよう。

3分割でコスト軽減

考え方としてはなかなかだし、業界初の画期的なものだ。マイ・バンパーが流行の兆しを見せてきたのを素早く察知したダイハツの商品企画部が、バンパーを自由に取り外せて、塗装しやすい車というコンセプトを出した。

たしかに、普通の車では、バンパーは簡単には取り外せない。重さだってかなりのものになる。そこで考えたのが「まずバンパーを3分割すること。両カドとセンターに分けることにより、塗りやすくなるのはもちろん、補修コスト面でも効果を発揮します」とダイハツ工業株式会社商品企画部の宮嘉毅さん。

小売り価格で普通1本3～4万円するバンパーも、コーナー片方だけなら1万円を切るというのだから、若い人たちにはありがたい。センター部分はオリジナルのままにしておいて、両カドだけカラーリングするということも可能になった。

これがまたカッコいいのだ。

ボルトとナットでとめてあるのが見えるところだけで4カ所。盗難防止用に見えないところも締めているが、それでも全部外すのに10分とかからない。

カラーリングの工程は、まずサンドペーパーで表面を整える。次に下塗りをして、そして好みのカラーを上塗り、クリア仕上げという4段階。用具、用品はカーショップですぐそろう。

仕上がりは腕次第だ。用具で、ディーラーなどで相談することをお勧めします」と言う。

自由な発想で自分の車にするための土台の車、という意味で「ネイキッド」（ありのままの）というネーミングになったのかもしれない。

さあ、この秋、ちょっと変わった"ガンバス"のカラーリングに挑戦してみよう。

今年と来年の流行色は「白」

Q…カラーリングをするからには、流行色を知っておくのが一番。そこで流行色のことなら社団法人日本流行色協会（略称JAFCA＝ジャフカ）におまかせ。ここが業界、マスコミ向けに発信しているトレンドカラー情報によると、現在の流行色は白、そして2000年も白となっている。ただ白は流行色という前に定番の色でもあるので、突然流行しはじめたというわけではない。

87年にファッションで黒が流行している中、乗用車の車体色では圧倒的に白が流行した。94年から黒が流行して、車もガンメタなど黒っぽいカラー一色となった。

以来、チョコレートブラウン、黒が根強い人気だったのだが、ようやく反動的に白が流行しはじめ、2000年も白がスペシャリティーカー、RVを中心に再び人気色に。ファッション界でもポスト黒として白に人気が集まっている。

車体両カドだけ塗ってもカッコいいぞ

自由な発想で"自分の車"に

アウトドア派にピッタリ

ダイハツ・ネイキッドは、いままでのこのクラスの車とはちょっと"格"が違う。何より「どこへ出かけるのが大好き！」というアウトドア派にぴったりの車、ということ。

NAKED G（写カーパッケージ 真のボディーカラーはメーカーオプション）

の乗り降り、荷物の出し入れに超便利。一度使ってみるとすぐに便利さが分かるスグレモノ。ドアのヒンジが外に付いているからという、簡単な原理なのだが、そこに気がついたダイハツはエライ！

まだある。インナールーフに突っ張り棒がはまる穴が4カ所、ピラーにはナットを埋め込んだ穴が6カ所。何に使う穴？使い方は自由。日曜大工気分で棚をつけたり、スキー板や釣り竿をひっかけるフックをさげたり…と好きなように使える。シートを外して車外に持ち出すこともOKだから、もう今までの車のイメージとは大違い。

なのだ。こんな乗しさいっぱいの車だから、使い道もいろいろ。フィッシングでも、バーベキューでも、サイクリングでも、要は気分次第。遊び方を限定せずに、思いのままに、西とができる。

大人用26インチの自転車を傾けないでそのまま載せることができる。"驚きでしょう。しかも荷室フロアが地上から490ミリという低さだから、載せるのも降ろすのもラクラク。

ドアは前も後ろも右も左も、4枚ともほぼ直角に開く。

これは人

大人用自転車傾けずに積める
便利ほぼ直角に開く前後ドア
シート外して車外使用もOK

紅葉狩りに行くならネイキッドで

各地の名所は

「ネイキッド」に負けずに、自由に自分をカラーリングしているのは、山の木々。そう「紅葉」だ。

紅葉というのは、気温や水分量が低下し、葉柄の基部に離層が形成され、同化物質が葉に蓄積されて細胞内の糖濃度が上昇し、葉が赤や黄色に変わることを言うのだそうだが、仕組みはともかく、秋の山の象徴だ。

もう日本の秋の行楽を代表するものといえば紅葉で、昔から"紅葉狩り"という風流な言葉もあるほどポピュラーなもの。紅葉は低温の蓄積によって起こるといわれているので、当然北の方、高いところなど、気温の低い所から始まっていく。だから紅葉前線はサクラ前線と違って、北から南に下りてくる形になる。

日本の紅葉の名所といえば、まず東の日光、西の嵐山といわれているが、ほかにも"名所"は多い。では、紅葉の名所の紹介を——。

▽奥入瀬（青森）

紅葉も渓流も秘境ムードいっぱい。十和田湖とともに古くから紅葉の名所として名高い。

▽塔のへつり（福島）

渓流に落ち込むように、100万年の年月をかけて浸食と風化を繰り返した巨大な岩の塔が並ぶ奇石、怪石は天然記念物。周囲の紅葉でまた景色が映える。

▽日光・奥日光（栃木）

関東を代表する紅葉の名所。赤が特にみごと。

▽神宮外苑（東京）

紅葉とはいっても、ここはイチョウの黄色い葉が魅力。

▽黒部峡谷（富山）

立山、白馬の雄大な景色を彩る紅葉が映える。

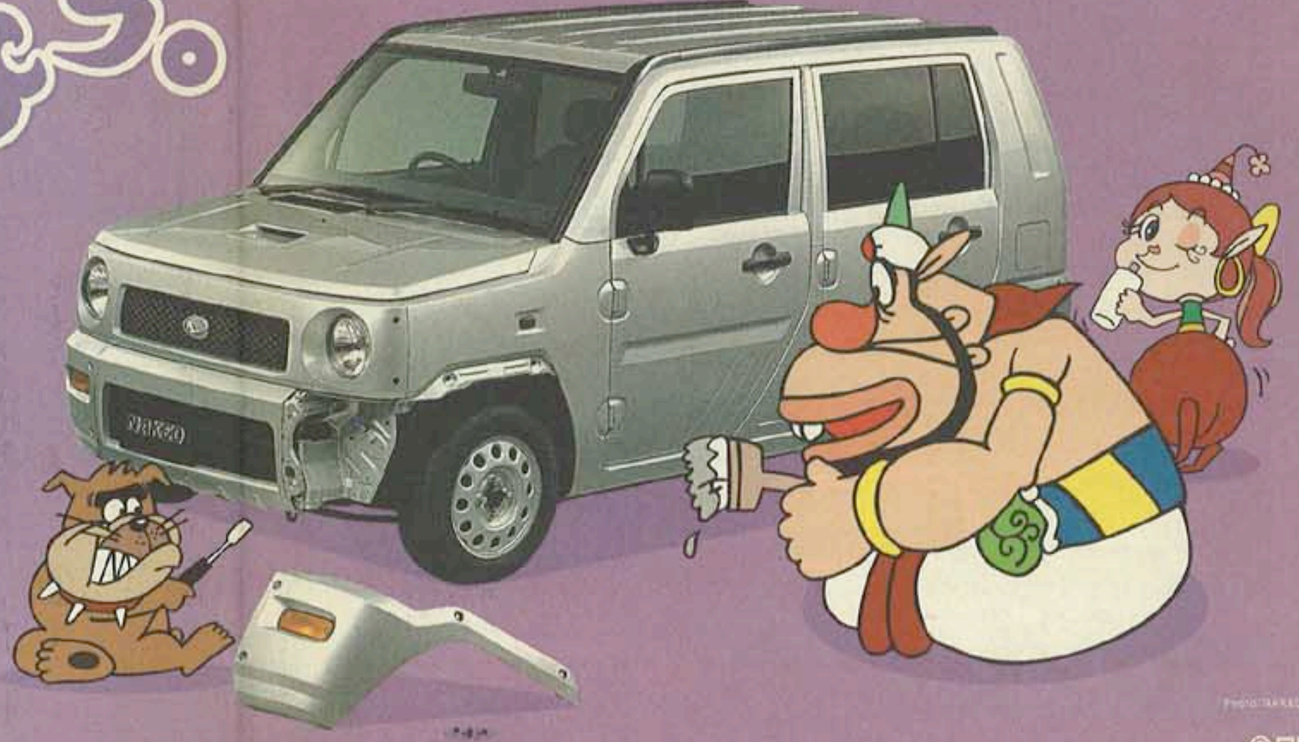
DAIHATSU

We do COMPACT.
ダイハツ工業株式会社
URL http://www.daihatsu.co.jp/
●詳しくはお近くのダイハツのお店へ。

かなえてあげよう。

ネイキッドで行けば、もっと楽しめるでごじゃるよ。

簡単に取り外せる3分割バンパーを
塗り変えれば、世界でたった一台のクルマになるでごじゃるよ。



自由自在にクリエイティブ・カー
NAKED 誕生
ネイキッド

©タツノコプロ